

証券コード:5401



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

日新製鋼(株)の子会社化等の 検討開始について

2016年2月1日

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されること
はお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

2016年2月1日

検討開始の覚書の締結

当社による
日新製鋼の子会社化

子会社化を前提とした
当社による日新製鋼への
鋼片の継続的供給

2016年5月中旬
目途

正式契約締結および適時開示

2017年3月
目途

当社による日新製鋼の子会社化（上場は維持の予定）
国内外の競争当局による承認、その他の必要な手続きを経たうえで実施

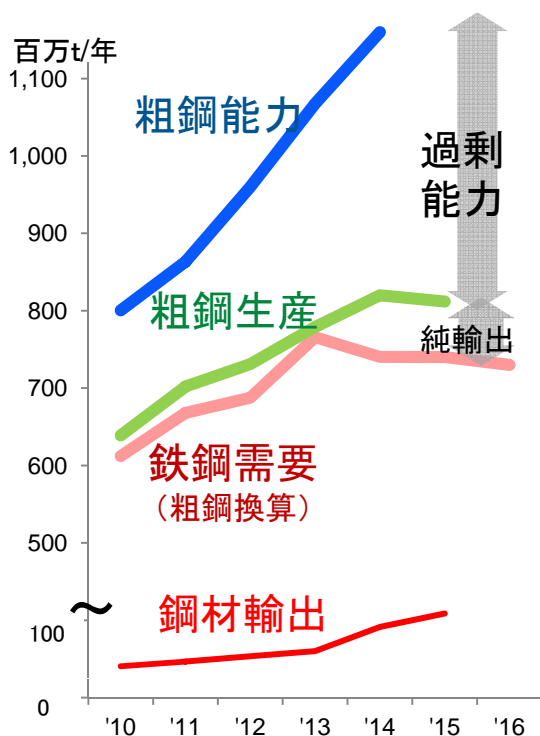
2019年度内

当社による日新製鋼への鋼片供給開始

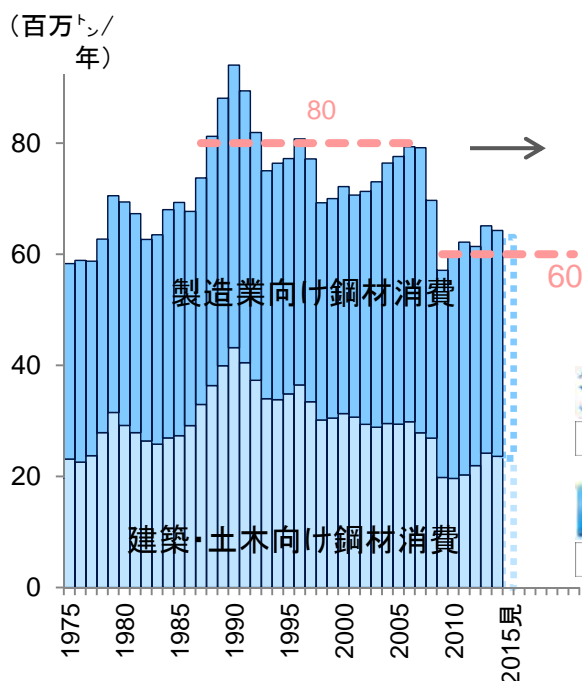
本検討の必要性 ～ 鉄鋼業を取り巻く厳しい事業環境

- 世界鋼材需給 : 中国経済減速⇒鋼材需要減⇒輸出急増⇒需給環境悪化
- 国内鋼材需要 : 人口減少の下で、拡大は期待できず
- ステンレス : 中国をはじめとする海外メーカーの巨大化、輸入増

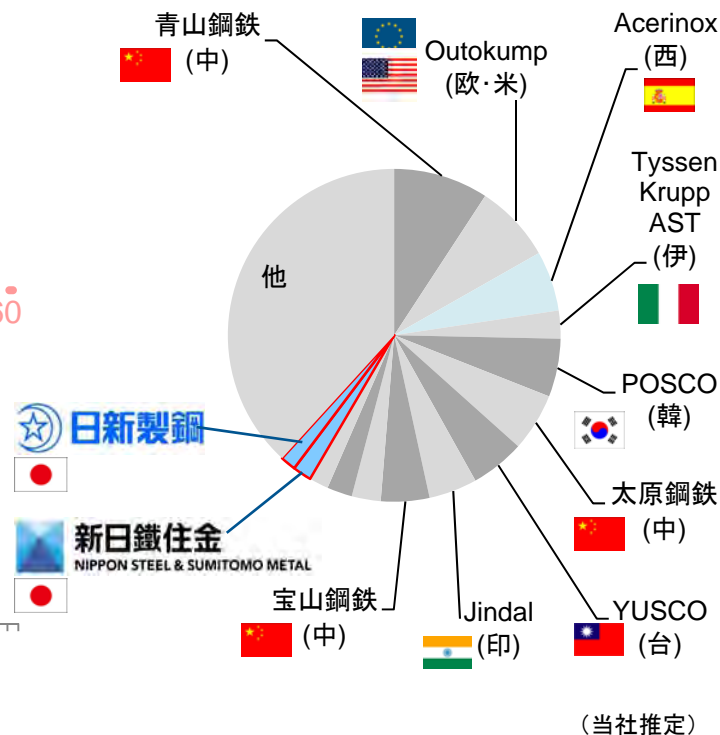
中国粗鋼生産能力・生産・需要・鋼材輸出の推移



国内鋼材消費推移



ステンレス粗鋼能力 (スラブ系) 世界シェア



本検討に至る必然性 ～両社の歩みと検討の経緯・趣旨⁴



強
み

技術先進性・商品対応力
コスト競争力
グローバル対応力

- ✓ 2012.10 新日鐵・住金の経営統合
- ✓ 統合効果発揮
(最適生産体制、ベストプラクティス)
- ✓ 揺るぎない『総合力世界No.1の鉄鋼メーカー』の実現へ

長期にわたる
提携関係

資本

1951年～新日鐵(当時)が出資
筆頭株主

人材

生産

ステンレス熱延材相互供給
広畑ダストリサイクルでの呉ダスト処理

強
み

きめ細かな開発営業による
顧客・市場対応力

- ✓ 2012.10 日新と日金工の経営統合
(2014.4完全統合)
- ✓ 24号中計(2012下～2016)の進展

事業構造改革の方針を決定

- コア製品戦略強化
- 呉1BF拡大改修・2BF休止
⇒ 新日鐵住金へ鋼片供給申入

厳しい事業環境を乗り越え、競争力のある事業基盤を維持・構築するために
経営資源を持ち寄り、相乗効果を創出することが必要との認識で一致

検討開始

子会社化

連携施策の推進

鋼片供給

固定費削減・稼働率向上



本検討による価値向上 ～ 両社が目指す姿

新たに日新製鋼を加えた新日鐵住金グループとして
『**総合力世界No.1の鉄鋼メーカー**』の地位を強化、
お客様に貢献し、豊かな社会の創造・発展に寄与します。

両社の経営資源を活かした相乗効果の創出

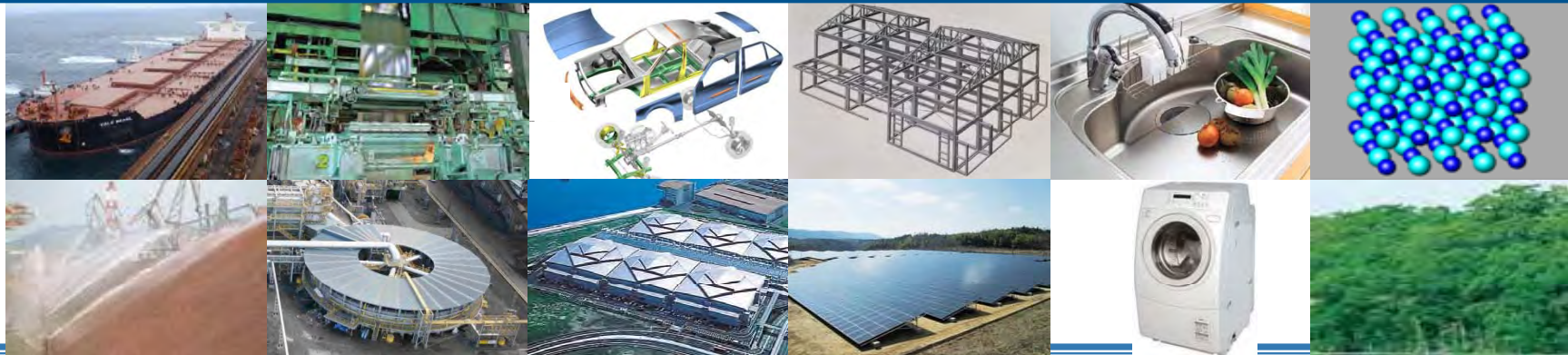
お客様のニーズに応えたより良い商品・技術・サービスを国内及びグローバルに提供
収益力の向上を図るとともに豊かな社会の創造と発展に寄与

連携施策の推進

操業、技術、設備、原料、資機材調達、製造現場マネジメント(安全・環境・防災・整備等)分野等での様々な連携

企業価値の最大化と株主・資本市場からの評価向上

資金・資産の効率的活用により強固な財務体質を構築、健全で持続的な成長と中長期的な企業価値の最大化



本子会社化の方法等

今後両社間の協議が整い次第、正式契約を締結し、
公表する予定（5月中旬目途）

本子会社化の方法

- ① 当社による日新製鋼(株)普通株式の公開買付け
 - ② 日新製鋼(株)が第三者割当により発行・処分する普通株式を当社が取得
 - ③ それらの組み合わせによる方法等
- ⇒ ①の方法を第一案に他の方法と比較考量のうえ、今後両社間で協議し正式契約に定める予定

本子会社化後の出資比率

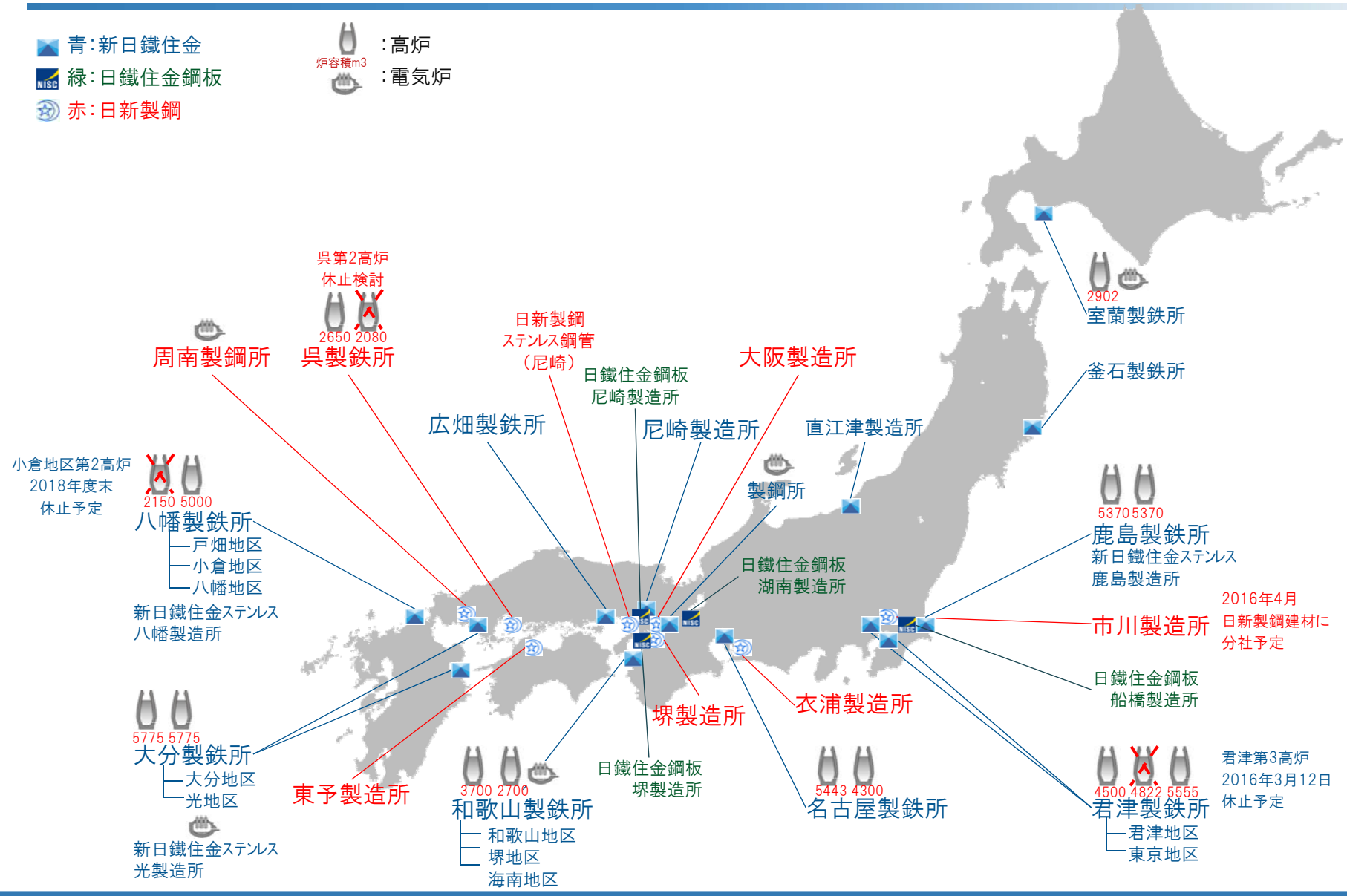
現時点では、51%～66%の範囲を想定
⇒今後両社間で協議のうえ、正式契約に定める予定

取得価額等

取得価額（総額）・対価の種類（金銭、有価証券等）ともに未定
⇒今後両社間で協議のうえ、正式契約に定める予定
⇒金銭による場合、自己資金または借入による調達で対応する予定

(参考)国内製造拠点

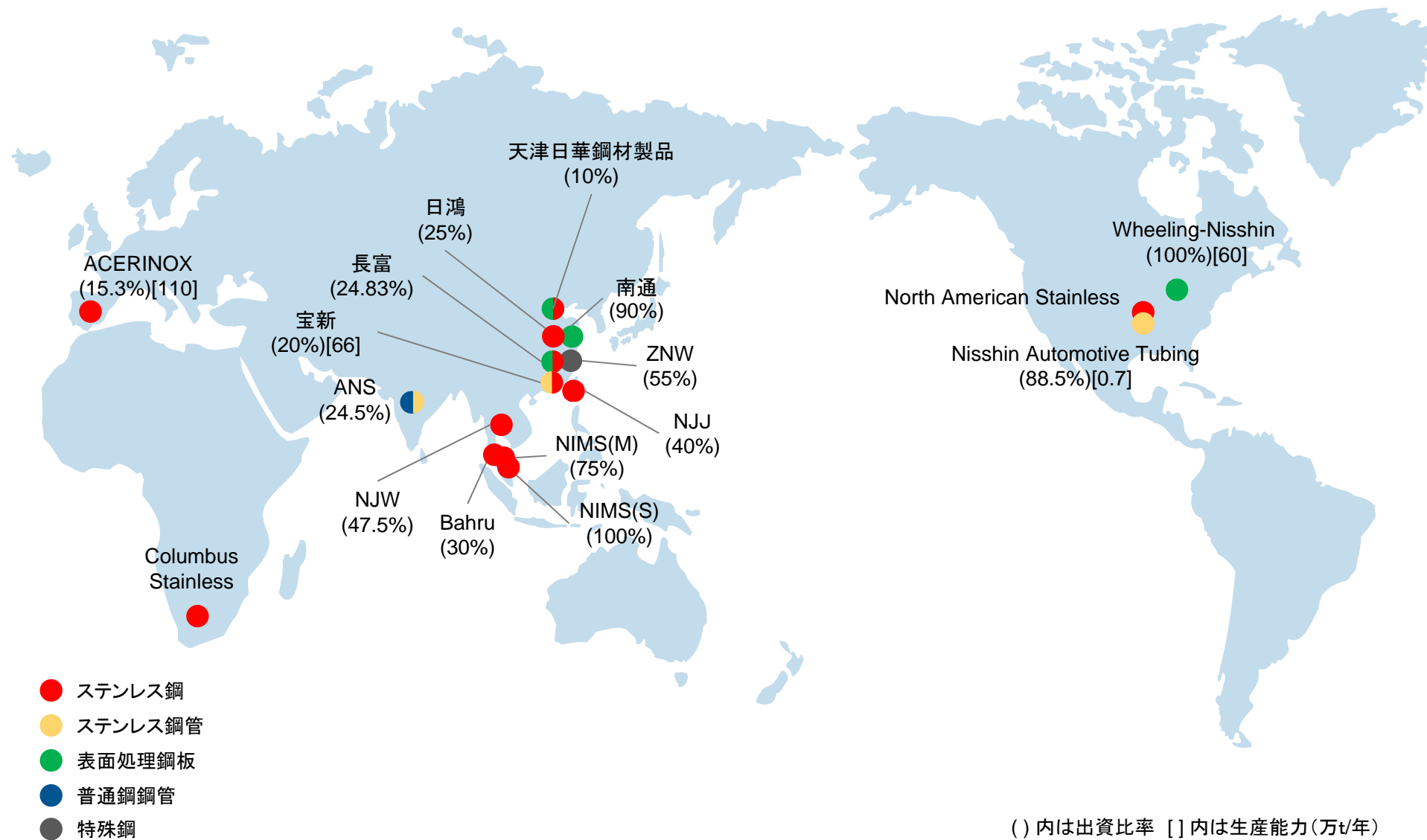
-  青:新日鐵住金
-  緑:日鐵住金鋼板
-  赤:日新製鋼
-  :高炉
-  :電気炉



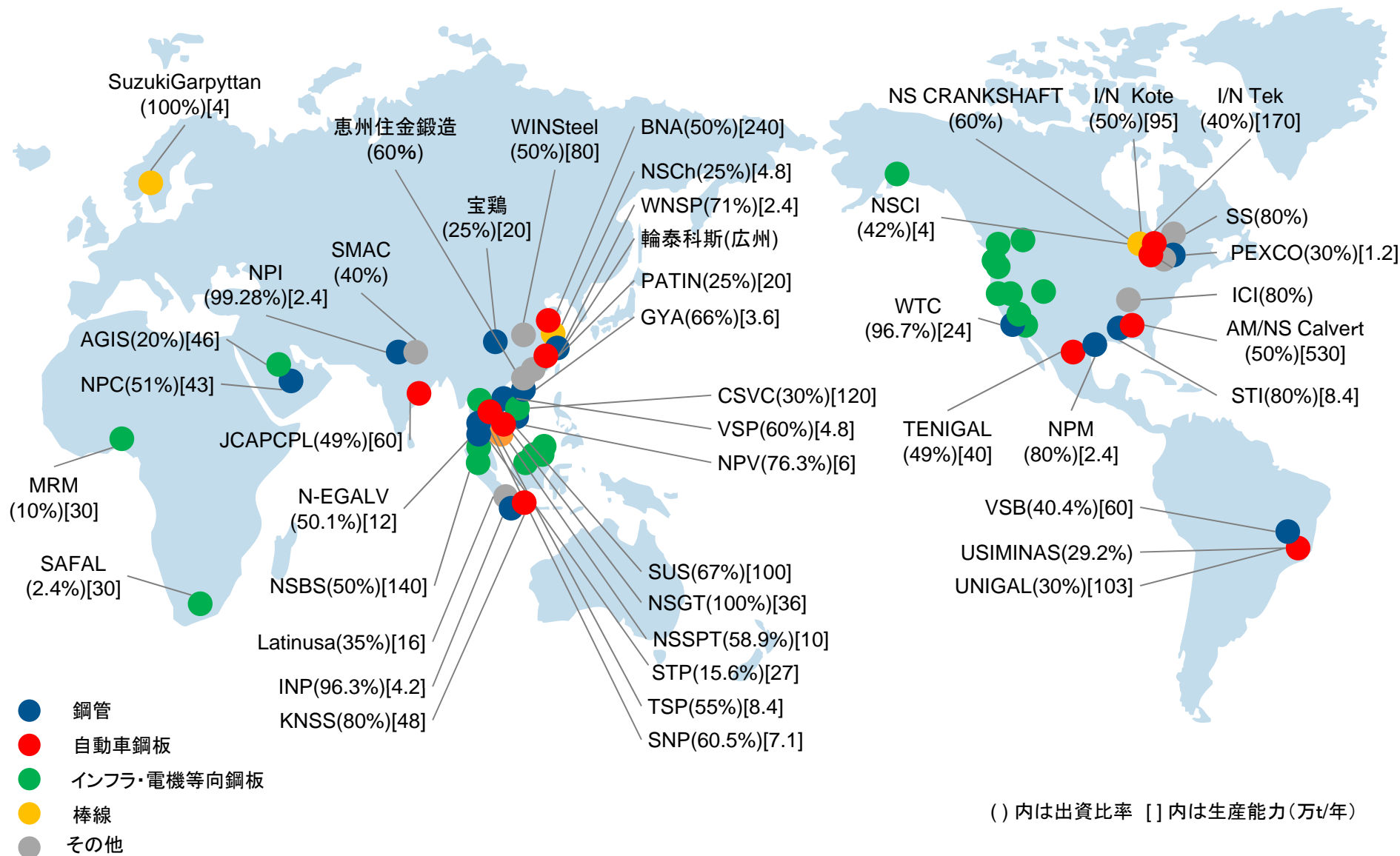
(参考) 新日鐵住金・日新製鋼グループの海外製造拠点

	ステンレス鋼 ステンレス鋼管	薄板		鋼管	棒線	ブリキ	交産 品
		インフラ・電機等向	自動車等向				
中国	☆☆☆☆ 宝新、天津、長富、 日鴻、NJJ	☆☆ 天津、長富	☆☆ 南通、ZNW ▲▲ BNA、輪泰	▲▲▲▲ 宝鷄、GYA、WINSP	▲ NSCh	▲▲ WINSteel PATIN	▲ 惠州
ASEAN	☆☆☆☆ Bahru、NJW、 NIMS(S)、NIMS(M)	▲▲▲▲ CSVG、N-EGALV、 NSBS	▲▲▲▲ SUS、NSGT、KNSS	▲▲▲▲▲▲ TSP、SNP、VSP、 NPV、INP	▲ NSPPT	▲▲ STP Latinusa	
インド	☆☆ ANS		▲▲ JCAPCPL	☆☆ ANS ▲ NPI			▲ SMAC
北米	☆☆ NAT、 North American Stainless	☆☆ Wheeling-Nisshin ▲ NSBS	▲▲▲▲ I/N Tek、I/N KOTE、 AM/NS Calvert	▲▲▲▲ STI、PEXCO、WTC	▲ NSCI	▲▲▲▲ ICI、SS、 NSCRANK SHAFT	
中南米			▲▲ TENGAL、UNIGAL	▲▲ VSB、NPM			
欧州	☆☆ Acerinox				▲ Suzuki Garphyttan		
他	☆☆ Columbus	▲▲▲▲ AGIS、MRM、SAFAL		▲ NPC			

(参考) 日新製鋼グループの海外製造拠点



(参考) 新日鐵住金グループの海外製造拠点



(参考)会社概要

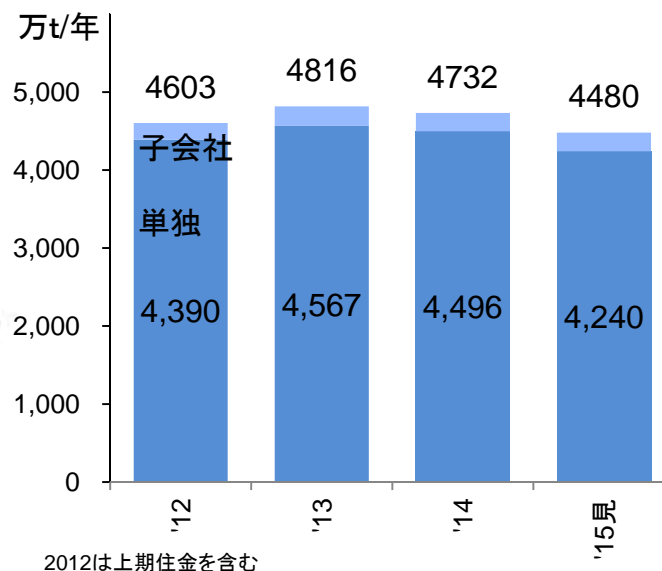


商号	新日鐵住金株式会社 Nippon Steel & Sumitomo Metal Corporation	日新製鋼株式会社 Nisshin Steel Co., Ltd
本店所在地	東京都千代田区丸の内2-6-1	東京都千代田区丸の内3-4-1
代表者	代表取締役社長 進藤 孝生	代表取締役社長 三喜 俊典
資本金 *	4,195億円	300億円
発行済株式数 *	9,503百万株	109百万株
連結総資産 *	71,579億円	7,705億円
従業員数*	84,447人(単独23,775人)	6,879人(単独4,128人)
決算期	3月31日	3月31日
大株主及び 持株比率 *	日本トラスティ・サービス信託銀行 4.1% 日本マスタートラスト信託銀行 3.3% 日本生命保険 2.6% 住友商事 1.9% みずほ銀行 1.7%	新日鐵住金 8.3% 日本トラスティ・サービス信託銀行 6.8% 日本マスタートラスト信託銀行 4.8% 太陽生命保険 2.4% 三菱東京UFJ銀行 2.2%

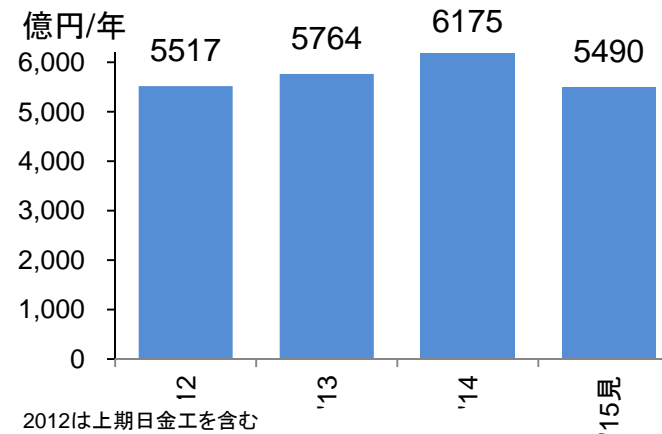
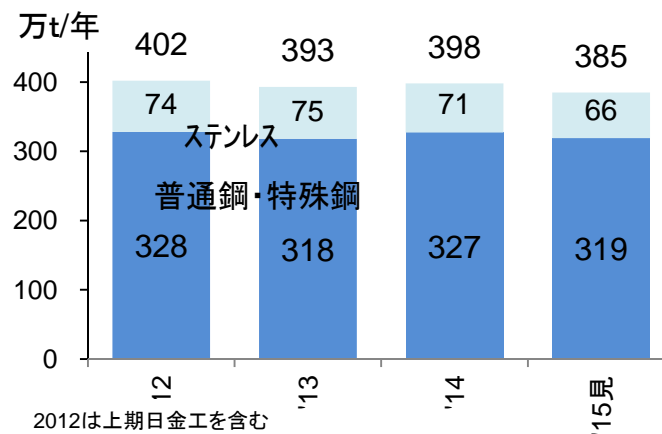
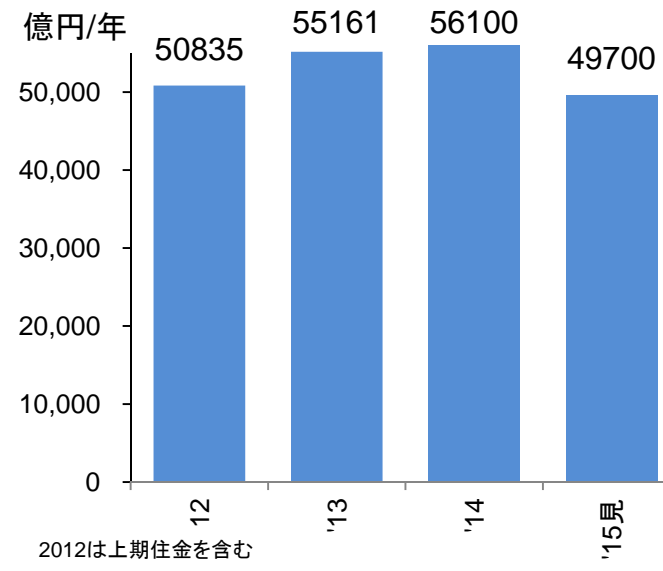
* 2015年3月末



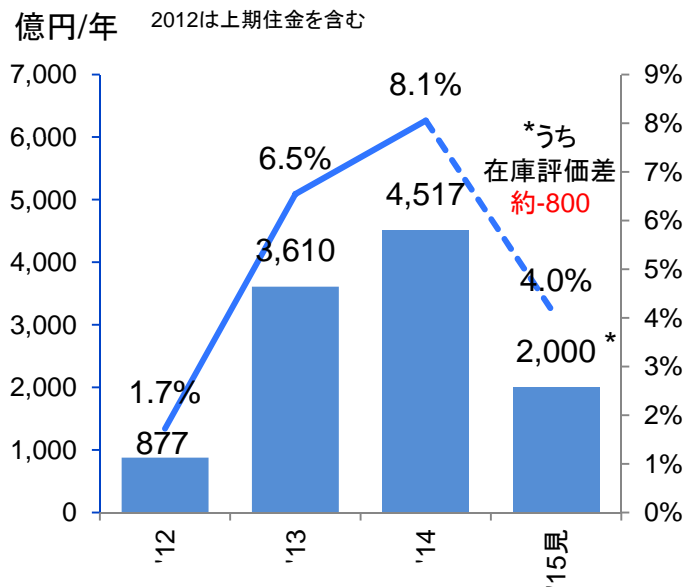
粗鋼生産量



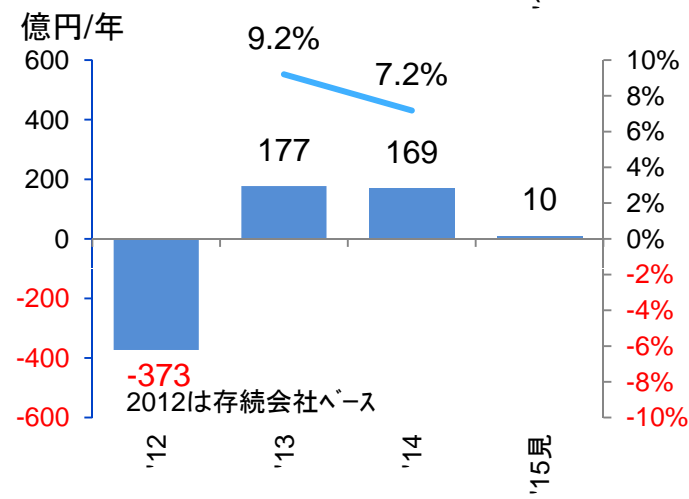
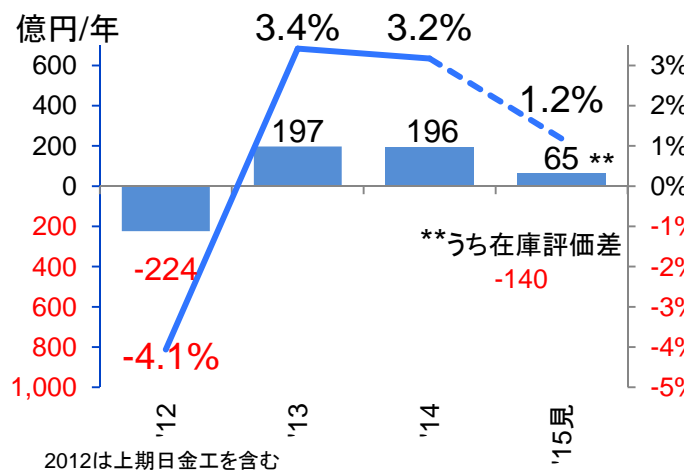
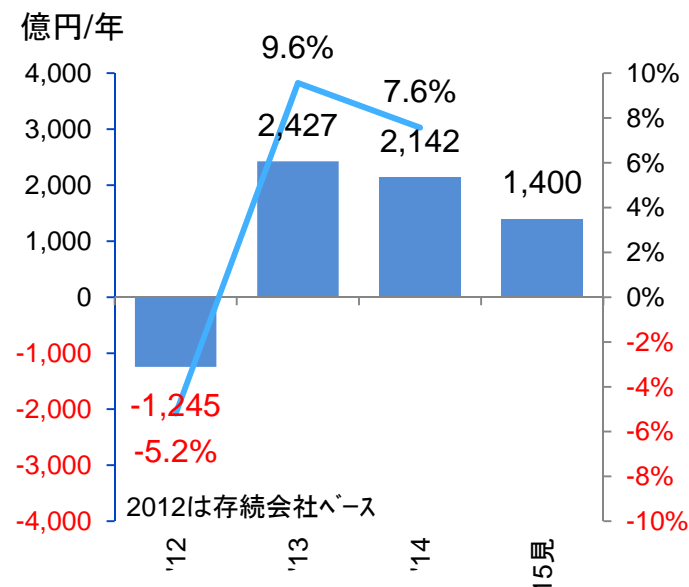
連結売上高



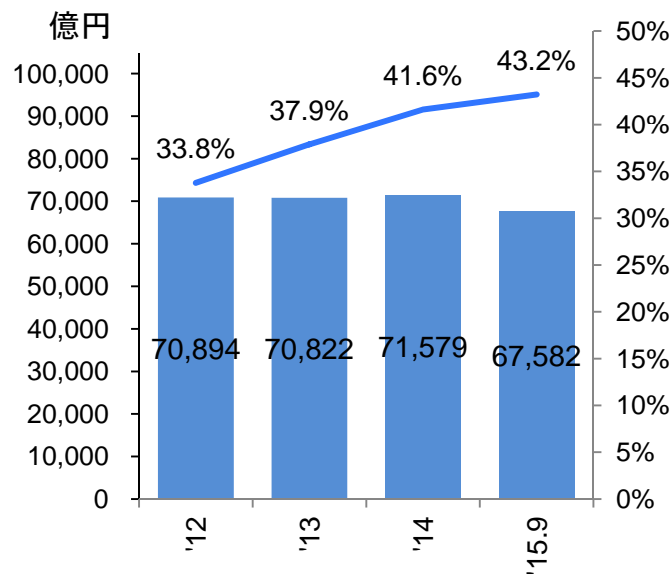
連結経常損益・ROS



連結当期損益・ROE



連結総資産・自己資本比率



連結有利子負債・D/E

